

姫路自動車検査登録事務所 1 階

客用トイレ模様替え工事

図面リスト

意匠図		電気設備図		機械設備図			
A-01	表紙(図面リスト)	A-16	計画1階便所展開図2	E-01	特記仕様書	M-01	特記仕様書
A-02	建築工事特記仕様書	A-17	計画建具リスト	E-02	機器姿図	M-02	衛生器具表・換気機器表
A-03	建築工事特記仕様書	A-18	詳細図	E-03	改修前 電気設備図(照明)	M-03	1階平面図[現況] 衛生設備
A-04	建築工事特記仕様書	A-19	仮設配置図	E-04	改修後 電気設備図(照明)	M-04	1階平面図[改修] 衛生設備
A-05	建築工事特記仕様書	A-20	仮設1階平面図	E-05	改修前 電気設備図(コンセント)	M-05	1階平面図[改修]換気設備
A-06	建築工事特記仕様書	A-21	仮設2階平面図	E-06	改修後 電気設備図(換気扇電源・コンセント)		
A-07	配置図			E-07	改修前 電気設備図(放送・トイレ呼出)		
A-08	付近見取図			E-08	改修後 電気設備図(放送・トイレ呼出)		
A-09	現況1階平面詳細図						
A-10	計画1階平面詳細図						
A-11	現況1階天井伏図						
A-12	計画1階天井伏図						
A-13	現況1階便所展開図1						
A-14	現況1階便所展開図2						
A-15	計画1階便所展開図1						

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項					
06 コン クリ ート 工 事	01 普通コンクリートの強度及びスラブ (6.2.2-6.2.4) [8.1.4,8.5.1-8.6.2]	設計基準強度(Fc) N/mm2 適用箇所 24 21 開口閉鎖・スラブ 18 外構 スラブ cm 適用箇所 15 基礎、基礎梁、土間、スラブ、外構 18 その他	07 既 製 コ ン ク リ ート 工 事	07 溶接接合 (7.6)[8.15]	溶接材料： 標仕等による (7.2.5)[8.2.10] 開先の形状： 図示 スラップの形状： 図示 第三者機関による溶接部の外観試験の実施： (7.6.12) ・試験方法等：JASS6 5.13による 対象： 全数 第三者機関による完全溶けこみ溶接部の超音波探傷試験の実施： ・工場溶接： 按取(AOQL: 4.0% ・2.5%、検査水準： 第6水準) ・全数 ・現場溶接： 全数	04 塗 膜 防 水 (9.5)[3.6]	種別等 ・X-1 (仕上塗料： 主材料製造所の仕様による) ・X-2 (仕上塗料： 主材料製造所の仕様による) ・B-1 (樹脂系(軽歩行用保護仕上メッシュ)) ・B-2 (樹脂系(耐水圧ビッド保護仕上仕様))	施工箇所 ・ビッド	04 防腐・防蟻 防虫処理 (12.3)[6.5.5] 05 その他	04 防腐・防蟻 防虫処理 (12.3)[6.5.5]	下地木材への防腐、防蟻処理：適用部位() ・防風、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集材材 ・薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理：保存処理性能区分(・K2 ・K3 ・K4) ・薬剤の塗付等による防腐防蟻処理： 処理の方法は標仕による ・防虫処理：適用部位及び処理()					
	02 コンクリートの種類 (6.2.1)[8.1.3]	類 ・ 類		08 錆止め塗装 (7.8)[8.17]	標仕18.3による。ただし、SSC材は一般用錆止めペイント焼付塗装も可とする。		05 樹脂系塗布防水 (9.6)	適用部位： ・地下構造物 ・水櫃 ・ビッド ・ 種別及び工程： C-UI ・C-UP		13 屋 根 及 び と い 工 事	01 長尺金属板葺 (13.2)	板及びコイルの種類： JIS G 3322の屋根用コイル 厚さ： 0.4 屋根葺き形式： ・瓦葺葺 ・平葺 下葺き材料： ・アスファルトフィング 940 ・改質アスファルトフィング 材料： JIS G 3322の屋根用コイル 形式による区分： 重ね形 ・はげ締め形 板厚： 0.8 山高及びピッチの区分： ・0920 ・1525 ・1730 軒先面戸： 無し ・有り 断熱材張り： 無し ・有り(材種： 、厚さ、耐火性能： 無し ・30分) ・縦どい 材種： 硬質ポリイソシアヌレート(防VP) 呼び径： ・75 ・100 ・125 とい受け金物： SUS製 ・亜鉛めっき製 ・軒どい 材種： 硬質ポリイソシアヌレート 寸法及び形状： ・ルーフトレイン 材種： 鋼鉄製 ・SUS製				
	03 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)[8.1.4]	コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 平たんさ 適用部位 ・a種 3mにつき7mm以下 便所床 ・b種 3mにつき10mm以下 ・c種 1mにつき10mm以下		09 耐火被覆 (7.9)[8.18]	種別・工法 適用箇所 耐火性能		06 シーリング (9.7)[3.7]	シーリングの種類：下記以外は標仕表9.7.1による			02 折板屋根 (13.3)	形式による区分： 重ね形 ・はげ締め形 板厚： 0.8 山高及びピッチの区分： ・0920 ・1525 ・1730 軒先面戸： 無し ・有り 断熱材張り： 無し ・有り(材種： 、厚さ、耐火性能： 無し ・30分) ・縦どい 材種： 硬質ポリイソシアヌレート(防VP) 呼び径： ・75 ・100 ・125 とい受け金物： SUS製 ・亜鉛めっき製 ・軒どい 材種： 硬質ポリイソシアヌレート 寸法及び形状： ・ルーフトレイン 材種： 鋼鉄製 ・SUS製				
	04 セメント (6.3.1)[8.2.5]	普通ポルトランドセメント ・混合セメントA種		10 亜鉛めっき (7.12)	種類 適用箇所 A種		07 その他				03 とい (13.5)[3.8]	・縦どい 材種： 硬質ポリイソシアヌレート(防VP) 呼び径： ・75 ・100 ・125 とい受け金物： SUS製 ・亜鉛めっき製 ・軒どい 材種： 硬質ポリイソシアヌレート 寸法及び形状： ・ルーフトレイン 材種： 鋼鉄製 ・SUS製				
	05 骨材 (6.3.1)[8.6.4]	アルカリシリカ反応性による区分： A ・B		11 その他			10 石工事	01 種類及び工法			種類及び名称 仕上種類 施工箇所 工法 寸法 備考	04 その他				
	06 コンクリートの調査 (6.3.2)	構造体強度補正： 標仕による 計画調査決定の試し練り 類コンクリートの場合省略できる ・実施する ・受入を専門とする第三者機関が採取すること 適用箇所() 圧縮強度試験： 標仕等による ・公的機関で行うこと		08 補強コンクリートブロック造 (8.2)	ブロックの種類： 空洞ブロック16 正味厚さ()		02 その他				02 其他					
	07 試験 (6.9)[8.8]	フレッシュコンクリートの試験及び強度試験の供試体採取： 標仕等による ・受入を専門とする第三者機関が採取すること 適用箇所() 圧縮強度試験： 標仕等による ・公的機関で行うこと		09 ALCLパネル (8.4)	種類 厚さ 長さ 構造 耐火性能 備考 ・外壁用 ・間仕切用 ・屋根用 ・床用 ・A ・B ・1h 最小R値補償： 300 ・化粧 ・コーナ役物 ・C ・D ・E ・1h F ・0.5h F ・1h ・2h		11 タイ イル 工 事	01 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 02 タイルの種類及び工法 (11.2.2, 3.2) [6.16]			位置： 標仕表11.1.1による ・図示 (11.1.3)	01 軽量鉄骨天井地下 (14.4)[6.6]	野縁等の種類 屋内 19形 ・25形 屋外 ・19形 25形 既存埋込パナト： 使用する ・使用しない 既存埋込パナト及びあと施工アーカーの確認試験： 行う ・省略する [6.6.4] 箇所数： 標仕による 確認強度： 標仕による 耐震性を考慮した補強： 行わない ・行う(適用箇所：) 補強を行う場合は当該工事前、平成25年国土交通省告示第771号に適合することを 証する計算書を監督職員に提出し承認を得ること。			
	08 軽量コンクリート (6.10)[8.9]	設計基準強度： ・18N/mm2 21N/mm2 種別： ・1種 ・2種 所要気乾単位容積質量： 1.8t/m3 適用箇所： ()		04 押出成形外板 (8.5)	工法 表面形状 厚さ 幅 取付工法 備考 ・外壁R値補償 ・F ・D ・T ・間仕切壁R値補償 ・F ・D ・T ・B種 ・C種		03 木 工 事	01 共通事項 (12.1)[6.5]			表面仕上の程度： ・A種 B種 ・C種 含水率 下地材： A種 ・B種 造作材： A種 ・B種 広葉樹製材： 10%以下 ・B種	02 軽量鉄骨壁地下 (14.5.3)[6.7.3]	スタッド及びランナーの種類： スタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による			
	09 寒中コンクリート (6.11)	適用期間： 1月11日～2月10日 初期養生期間： コンクリート圧縮強度が5N/mm2に達するまで		05 その他			02 製材・集成材等 (12.2)[6.5]	規格： 原則、製材はJAS規格品とする。ただし、JAS規格に準じた品質を有することを 示した資料を提出し、監督員の承認を得た場合はこの限りでない。			03 金属成形板 (14.6)	材質： アルミ合金(・B-1 ・B-2 ・D) 形状等： アルミドレイン型() 厚さ： ・0.6 ・0.8 ・1.0 ・1.2 伸縮調整下地： 設けない ・設ける(図示による)	04 製作金物	名称・種類 材質・表面処理 規格・寸法 備考 巾木 ステンレス製 H60		
	10 暑中コンクリート (6.12)[8.10]	適用期間： 標仕による 構造体強度補正值： 6N/mm2		01 防水保証	保証書(2部提出)は受注業者、防水工事施工業者及び防水材料業者の連名による。 保証期間等 完了日より10年間 完了日より5年間 対象外 対象部位 右記以外 ・シリング		03 既 製 コ ン ク リ ート 工 事	02 既存下地の補修及び処置 [3.2.6]			生地又は透明塗料塗部 造作用集成材 1等 死 ・造作用針葉樹材 上小節 ・桧 不透明塗料塗部 造作用集成材 1等 米桐、R値 ・造作用針葉樹材 小節 杉、松、桧	05 既製品金物	名称・種類 材質・寸法等 規格等 天井点検口 7R2450角 額縁947			
	11 無筋コンクリート (6.14)	設計基準強度： 18N/mm2 スラブ： 18cm ・15cm 適用箇所： 標仕6.14.1(4)による他、下記による ()		03 合成高分子シート防水 (9.4)[3.5]	既存防水層の撤去： ・行う(範囲： ・全面 ・図示部) 行わない [3.1.4] ・改修用ドレイン： ・100用 ・75用 [3.2.5] 種別 厚さ 施工箇所 備考 ・S-F2 1.5 ・2.0 ・S-M2 1.5 ・2.0 ・S1-F2 1.5 ・2.0 ・S1-M2 1.5 ・2.0		04 高力ボルト (7.2.2)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)			04 高力ボルト (7.2.3)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)	06 鉄骨 工 事	01 鉄骨製作工場 (7.1.3)[8.1.5]	指定性能評価機関の性能評価を受けて国土交通大臣の認定を受けた下記グレード以上の工場 ・S ・H ・M ・R ・J ・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承認する工場	
	12 型枠 (6.8)[8.2.7,8.7.8]	せき板の材料： 合板(厚み 12) ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地： 寸法、位置、形状は図示による (6.8.1) コーンの種類： PCコーン ・止水セパ：適用箇所(ビッド打継ぎ部) 止水板： 塩化ビニル ・スチール ・ステンレス		02 既存下地の補修及び処置 [3.2.6]	既存下地の補修及び処置は、改仕3.2.6により、その適用は既存防水層及びその撤去、非撤去に応じたものとする他は下記及び図示による。 ・防水接着工法及び塗膜防水工法の既存下地はR値セパ等の下地調整材を全面塗布つける		02 施工管理技術者 (7.1.3)[8.1.5]	適用する ・適用しない			03 高力ボルト (7.2.3)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)	05 普通ボルト (7.2.3.7.5)	ボルト及びナットの材料等： 標仕による ボルトの径： 図示	02 施工管理技術者 (7.1.3)[8.1.5]	適用する ・適用しない
	13 打放し仕上げ (6.2.5, 6.8.1.2) [8.1.4]	・A種： 適用箇所() ・B種： 適用箇所(・仕上げ塗下地 ・防水下地) ・C種： 適用箇所() 打放し仕上げの増し打ち厚さ： 図示による		03 合成高分子シート防水 (9.4)[3.5]	種別 厚さ 施工箇所 備考 ・S-F2 1.5 ・2.0 ・S-M2 1.5 ・2.0 ・S1-F2 1.5 ・2.0 ・S1-M2 1.5 ・2.0		03 鋼材の種類 (7.2.1)[8.2.8]	鋼材の種類 適用箇所 ・SS400 図示 図示 図示 図示 図示 図示			03 床張り用合板 (12.2)[6.5]	合板の種類 厚さ 接着の程度 等級、品質 備考 ・普通合板 5.5 1類 2等又はC-D ・構造用合板 12 1類・特類 2級、C-D ・R-ティンクド 15 ・P ・M ・構造用R値補償	06 鉄骨 工 事	03 鋼材の種類 (7.2.1)[8.2.8]	鋼材の種類 適用箇所 ・SS400 図示 図示 図示 図示 図示 図示	
	14 その他			04 高力ボルト (7.2.2)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)		04 高力ボルト (7.2.3)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)			04 高力ボルト (7.2.3)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)	06 鉄骨 工 事	04 高力ボルト (7.2.2)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)	
07 鉄骨 工 事	01 鉄骨製作工場 (7.1.3)[8.1.5]	04 高力ボルト (7.2.2)[8.2.9]	種類： トルシア形高力ボルト (JSS 09認定品) (7.12.4) ・JIS形高力ボルト (F10T) (7.4)[8.13] ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)	05 普通ボルト (7.2.3.7.5)	ボルト及びナットの材料等： 標仕による ボルトの径： 図示	05 普通ボルト (7.2.3.7.5)	ボルト及びナットの材料等： 標仕による ボルトの径： 図示	06 アンカーボルト (7.10.3)	種類： ・構造用アンカーボルト ：形状及び寸法は図示 (7.2.4) ・建方用アンカーボルト ：保持及び埋込工法(・A種 B種 ・C種) ボルト及びナットの材料等： 標仕による (7.2.3) 柱底均しモルタルの種類： A種 ・B種		05 普通ボルト (7.2.3.7.5)	ボルト及びナットの材料等： 標仕による ボルトの径： 図示				
08 鋼材の種類 (7.2.1)[8.2.8]	鋼材の種類 適用箇所 ・SS400 図示 図示 図示 図示 図示 図示	05 普通ボルト (7.2.3.7.5)	ボルト及びナットの材料等： 標仕による ボルトの径： 図示	06 アンカーボルト (7.10.3)	種類： ・構造用アンカーボルト ：形状及び寸法は図示 (7.2.4) ・建方用アンカーボルト ：保持及び埋込工法(・A種 B種 ・C種) ボルト及びナットの材料等： 標仕による (7.2.3) 柱底均しモルタルの種類： A種 ・B種	06 アンカーボルト (7.10.3)	種類： ・構造用アンカーボルト ：形状及び寸法は図示 (7.2.4) ・建方用アンカーボルト ：保持及び埋込工法(・A種 B種 ・C種) ボルト及びナットの材料等： 標仕による (7.2.3) 柱底均しモルタルの種類： A種 ・B種	備考	備考	備考	備考					

章 項目	特記事項	
15 左官工事	01 床の目地 (15.2)	設ける：押し目地・既製目地() ・ 設けない
02	セッコウ系 セメント系 (15.5.2)[6.17]	・ セッコウ系 セメント系
03	外壁改修 調査範囲：・外壁改修範囲 ・図示 施工数量調査 調査内容：ひび割れ、浮き部、露筋部及び欠損部等をマーキングし、図書にて報告する。 外壁改修の対象及び工法は施工数量調査のうえ、監督職員と協議し決定する。 項目04から10の工法及び数量は、設計時の見込み工法及び数量であり、設計変更の対象とする。	
04	ひび割れ部改修 ・樹脂注入工法 [4.3.4、4.4.5、4.5.5] 工法の種類 ・自動式球状樹脂注入工法 130 ・手動式球状樹脂注入工法 250 ・機械式球状樹脂注入工法 エポキシ樹脂：・低粘度 ・高粘度 コア抜き取り確認：・適用する 適用しない 抜き取り部分の補修方法： ・Uカットシール材充填工法 [4.3.5、4.4.6、4.5.6] 工法の種類 ・シール材充填 ・シール材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・可とう性エポキシ樹脂充填 ・シール工法 [4.3.6、4.4.7] 工法の種類 ・パテ状エポキシ樹脂塗布 ・可とう性エポキシ樹脂塗布	
05	欠損部改修 [4.3.7、4.4.8]	工法の種類 ・エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・ポリマーセメントモルタル充填工法
06	浮き部改修 [4.4.10-15、4.5.9-15]	工法の種類 ・アカビシッコ部分球状樹脂注入工法 ・アカビシッコ全面球状樹脂注入工法 ・アカビシッコ全面樹脂注入工法 ・注入口付アカビシッコ部分球状樹脂注入工法 ・注入口付アカビシッコ全面球状樹脂注入工法 ・注入口付アカビシッコ全面樹脂注入工法 ・注入口付アカビシッコ全面樹脂注入工法
07	塗装、張替え工法	工法の種類 ・モルタル張替え工法 [4.4.9] ・タイル部分張替え工法 [4.5.7] ・タイル張替え工法 [4.5.8]
08	目地改修工法 [4.5.16]	工法の種類 ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法
09	既存塗り仕上げ外壁等の下地処理 [4.6]	既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 処理範囲 除去範囲等 ・サンダー工法 既存仕上げ面全体 ・図示 30%程度 ・高圧水洗工法 既存仕上げ面全体 ・図示 全面(50-100MPa) 劣化部(30-50MPa) ・塗膜はく離剤工法 既存仕上げ面全体 ・図示 全面 ・水洗い工法 既存仕上げ面全体 ・図示 高圧水洗機
10	下地調整 (15.5.5)[4.6]	既存塗膜強度試験：・行う(接着引張試験(ヶ所)) 行わない ・全面下地調整： 処理範囲：・新設下地面 ・既設仕上げ面全面 工法： 標仕15.6.5及び改仕4.6.4による ・塗膜剥離部等の下地調整(数量： m ²) 工法： 下地調整材(C-2 ()塗)のうえ、改仕4.6.6による既存部分との模様合わせ
11	仕上げ塗材仕上げ ()	種類、仕上げの形状及び工法 種類 仕上げの形状等 ・外装薄塗材E 形状： 砂壁(吹付け ・ロー塗 ()) ・複層塗材E 形状： 凹凸模様(吹付け) 上塗材： 水系77%つやあり(耐候形3種) ・可とう形改修用塗材E 形状： 平たん状、ロー塗(薄付) ・さざ波状、ロー塗(厚付) ・ゆず肌状、吹付け(厚付) 上塗材： 水系77%つやあり(耐候形3種)

章 項目	特記事項	
12	珪藻土塗り	種類：・A種 B種(仕上材塗： B種 ・A種)
13	その他	
16 16 16	01 一般事項 (16.1)[5.1]	建具工事は図示(建具表等)無き限り本章の特記及び標仕等による 防火戸の指定：・指定する(適用は図示による) 指定しない 防火戸の連動：・連動させる(適用及び連動項目は図示による) 連動させない 防音ドア、防音シャッターの遮音性(適用は図示による)：・T-1 ・T-2 ・T-3 断熱ドア、断熱シャッターの断熱性(適用は図示による)：・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 耐震ドアの面内変形追随性(適用は図示による)：・D-1 ・D-2
02	珪藻土製建具 (16.2)[5.2]	外部に面する建具の性能等級(枠見込寸法)：・A種(70) B種(70) ・C種(100) 表面処理：・B-1種 B-2種
03	樹脂製建具 (16.3)[5.3]	外部に面する建具の性能等級：・A種 ・B種 ・C種 建具枠の見込み寸法： 表面色： 標準色 ・特注色() ・簡易気密ドアの性能(適用は図示による)： A-3、W-1、S-5
04	鋼製建具 (16.4)[5.4]	鋼板(厚さは標仕による)： JIS A 3302 ・JIS G 3317
05	軽量鋼製建具 (16.5)[5.5]	・簡易気密ドアの性能(適用は図示による)： A-3
06	ステンレス製建具 (16.6)[5.6]	・簡易気密ドアの性能(適用は図示による)： A-3、W-1 鋼板： SUS430(屋外不可)、SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上： HL ・鏡面 曲げ加工： 普通曲げ ・角出し曲げ 組立時の含水率：・A種 B種 ・C種
07	木製建具 (16.7.2)	・フック戸： 表面材(厚さ： 標仕による ()) 普通合板 ・天然木化粧合板(樹種： ()) ・特殊加工化粧合板(・張り合板 ・ラミネート化粧合板貼 小口、カマリ：・塗装(・SOP ・CL ()) ・素地 ・かまち戸(かまち樹種： 鏡板樹種： ()) ・ふすま(縁の仕上げ： ()) 上張りの種類： 新鳥の子又はビニル紙程度 ・障子：(紙の種類： ())
08	建築用金物 (16.8)[5.7]	標仕表16.8.1による。ただし見え掛かり部の材質欄にステンレスの選択肢があるものはステンレスとする。
09	鍵 (16.8.4)[5.7.4]	スリキー：・製作する ・製作しない ・既存のスリキーに合わせる 引き渡し： 3本1組室名札付き鋼製鍵箱収納
10	自動開閉装置 (16.9)[5.8]	・スライディングドア ・SSLD-1(片引) ・SSLD-2(片引) ・DSDL-1(引分) ・DSDL-2(引分) ・スイングドア ・SND-1(片開) ・SND-2(両開) センサーの種類： センサの種類： 性能： 標仕による
11	自閉式上吊り戸装置 (16.10)[5.9]	種類：・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 一般重量及び外壁用防火シャッターの耐風圧強度： ・50 ・80 ・120 開閉機能： 上部電動式(手動併用) ・上部手動式 シャッターケース：・設置する ・設置しない スラット及びシャッターケースの材質：・JIS G 3302 ・JIS G 3312
12	軽量シャッター (16.11)[5.10]	開閉形式： 手動式 耐風圧強度：・50 ・65 ・80 スラットの材質：・JIS G 3312 ・JIS G 3322 スラットの形状：・インダクション形 ・オフ・ラビング形
13	軽量シャッター (16.12)[5.11]	種類、厚み及び性能等は図示による
14	ガラス (16.14)[5.13]	ガラス窓材の種類 適用箇所 ・ソーラック ・ガラス(グレイズン) 形状
15	網戸 (16.2.3)[5.2.3]	材質： 合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス
16	ガラス用フィルム	JIS A 5759 建築用ガラスフィルム(色： 透明 ・白色 可視光線透過率30%以下) 用途及び性能による区分：・SC(・A ・B ・C) ・GS(・A ・B) ・SF(・A ・B)
17	その他	

章 項目	特記事項																																																																																																					
17 17 17	01 種別	・タタカクウォール ・PCクウォール																																																																																																				
02	材料、形状等																																																																																																					
03	その他																																																																																																					
18 18 18	01 塗装	防火材料の指定：適用箇所() (18.1.3)[7.1.3] 塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲： 塗替え面積の30%程度 ・図示 下地調整 (18.2)[7.2]																																																																																																				
02	素地ごしらえ、下地調整 (18.2)[7.2]	下地面等 塗替え [7.2] 新規 (18.2) <table border="1"> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗部</td> <td>RB種</td> <td>A[RA]種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗部</td> <td>RB種</td> <td>B[RB]種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>RB種</td> <td>C[RA]種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具</td> <td>RB種</td> <td>B[RC]種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具以外</td> <td>RB種</td> <td>A[RA]種</td> </tr> <tr> <td>タタカク及びタタカク面</td> <td></td> <td>RB種</td> <td>B[RB]種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、ALC面、ECP面</td> <td></td> <td>RB種</td> <td>B[RB]種</td> </tr> <tr> <td>せっこうその他タタカク面</td> <td>目地：継目処理工法</td> <td>RB種</td> <td>A[RA]種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地：継目処理工法以外</td> <td>RB種</td> <td>B[RB]種</td> </tr> </table> 新規欄の[]外は標仕、[]内は改仕の種別を示す。 DP塗部の素地ごしらえ及び下地処理は標仕等による。	木部	不透明塗料塗部	RB種	A[RA]種		透明塗料塗部	RB種	B[RB]種	鉄鋼面		RB種	C[RA]種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	RB種	B[RC]種		鋼製建具以外	RB種	A[RA]種	タタカク及びタタカク面		RB種	B[RB]種	コンクリート面、ALC面、ECP面		RB種	B[RB]種	せっこうその他タタカク面	目地：継目処理工法	RB種	A[RA]種		目地：継目処理工法以外	RB種	B[RB]種																																																																
木部	不透明塗料塗部	RB種	A[RA]種																																																																																																			
	透明塗料塗部	RB種	B[RB]種																																																																																																			
鉄鋼面		RB種	C[RA]種																																																																																																			
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	RB種	B[RC]種																																																																																																			
	鋼製建具以外	RB種	A[RA]種																																																																																																			
タタカク及びタタカク面		RB種	B[RB]種																																																																																																			
コンクリート面、ALC面、ECP面		RB種	B[RB]種																																																																																																			
せっこうその他タタカク面	目地：継目処理工法	RB種	A[RA]種																																																																																																			
	目地：継目処理工法以外	RB種	B[RB]種																																																																																																			
03	錆止め塗料塗り (18.3)[7.3]	下地面等 工程の種別 塗料の種別 <table border="1"> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新規見え掛り部</td> <td>A種</td> <td>A種(EP-G面はB種)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ部</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>新規鋼製建具</td> <td>A種</td> <td>A種(EP-G面はC種)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </table> DP塗部の錆止め塗料塗りは改仕による。	鉄鋼面	新規見え掛り部	A種	A種(EP-G面はB種)		新規見え隠れ部	B種			塗替え	C種		亜鉛めっき鋼面	新規鋼製建具	A種	A種(EP-G面はC種)		塗替え	C種																																																																																	
鉄鋼面	新規見え掛り部	A種	A種(EP-G面はB種)																																																																																																			
	新規見え隠れ部	B種																																																																																																				
	塗替え	C種																																																																																																				
亜鉛めっき鋼面	新規鋼製建具	A種	A種(EP-G面はC種)																																																																																																			
	塗替え	C種																																																																																																				
04	塗装 (18.4-13)[7.4-14]	塗装 塗替え 新規 塗料の種類 <table border="1"> <tr> <td>・SOP</td> <td>木部屋外</td> <td>B種</td> <td>A種</td> <td>1種 ・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>B種</td> <td>B種</td> <td>1種 ・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄鋼面</td> <td>B種</td> <td>B種</td> <td>1種 ・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>B種</td> <td>[B種]</td> <td>1種 ・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具</td> <td>A種</td> <td>[B種]</td> <td>1種 ・2種</td> </tr> <tr> <td>・CL</td> <td></td> <td>B種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・NAD</td> <td></td> <td>B種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DP</td> <td>鉄鋼面</td> <td>B種</td> <td>[A種]</td> <td>()級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>[A種]</td> <td>()級</td> </tr> <tr> <td>・EP-G</td> <td>コンクリート面等</td> <td>B種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>B種</td> <td>[A種]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄鋼面屋内</td> <td>B種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>B種</td> <td>[B種] ・[A種]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・EP</td> <td></td> <td>B種</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・EP-T</td> <td></td> <td>B種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・UC</td> <td></td> <td>B種 ・A種</td> <td>B種 ・A種</td> <td>油性 ・水性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・床面4回塗</td> <td>A種(工程3、4は2度行う)</td> <td></td> <td>水性2液形</td> </tr> <tr> <td>・LE</td> <td></td> <td>B種 ・A種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・OS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・WP</td> <td></td> <td>B種 ・A種</td> <td>B種 ・A種</td> <td></td> </tr> </table> 新規欄の[]内は改仕の種別を示す。 その他塗料(仕様は製造所の規定による)	・SOP	木部屋外	B種	A種	1種 ・2種		木部屋内	B種	B種	1種 ・2種		鉄鋼面	B種	B種	1種 ・2種		亜鉛めっき鋼面	B種	[B種]	1種 ・2種		鋼製建具	A種	[B種]	1種 ・2種	・CL		B種	B種 ・A種		・NAD		B種	B種 ・A種		・DP	鉄鋼面	B種	[A種]	()級		亜鉛めっき鋼面		[A種]	()級	・EP-G	コンクリート面等	B種	B種 ・A種			木部屋内	B種	[A種]			鉄鋼面屋内	B種	B種 ・A種			亜鉛めっき鋼面	B種	[B種] ・[A種]		・EP		B種	B種		・EP-T		B種	B種 ・A種		・UC		B種 ・A種	B種 ・A種	油性 ・水性		・床面4回塗	A種(工程3、4は2度行う)		水性2液形	・LE		B種 ・A種	B種 ・A種		・OS					・WP		B種 ・A種	B種 ・A種	
・SOP	木部屋外	B種	A種	1種 ・2種																																																																																																		
	木部屋内	B種	B種	1種 ・2種																																																																																																		
	鉄鋼面	B種	B種	1種 ・2種																																																																																																		
	亜鉛めっき鋼面	B種	[B種]	1種 ・2種																																																																																																		
	鋼製建具	A種	[B種]	1種 ・2種																																																																																																		
・CL		B種	B種 ・A種																																																																																																			
・NAD		B種	B種 ・A種																																																																																																			
・DP	鉄鋼面	B種	[A種]	()級																																																																																																		
	亜鉛めっき鋼面		[A種]	()級																																																																																																		
・EP-G	コンクリート面等	B種	B種 ・A種																																																																																																			
	木部屋内	B種	[A種]																																																																																																			
	鉄鋼面屋内	B種	B種 ・A種																																																																																																			
	亜鉛めっき鋼面	B種	[B種] ・[A種]																																																																																																			
・EP		B種	B種																																																																																																			
・EP-T		B種	B種 ・A種																																																																																																			
・UC		B種 ・A種	B種 ・A種	油性 ・水性																																																																																																		
	・床面4回塗	A種(工程3、4は2度行う)		水性2液形																																																																																																		
・LE		B種 ・A種	B種 ・A種																																																																																																			
・OS																																																																																																						
・WP		B種 ・A種	B種 ・A種																																																																																																			
05	その他																																																																																																					

章 項目	特記事項	
19 19 19	01 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]	ビニール等の除去： 仕上のみ(接着剤共) ・下地タタカク共(・図示 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法： ・機械的除去工法 ・目荒し工法 ビニール床改修部の下地補修： 樹脂セメントタタカクを全面に塗付け平滑にする
02	ビニール床シート敷き (19.2)[6.8]	記号 色柄 厚さ 特殊機能等 施行箇所 ・FS 2.0 ・2.5 防滑性 便所、D-2 2.0 2.0 2.0 2.0 工法： 熱溶接工法 ・突付け(施行箇所：)
03	ビニール床シート敷き (19.2)[6.8]	記号 色柄 厚さ 特殊機能等 施行箇所 2.0 2.0 2.0 2.0
03	ビニール床シート敷き (19.2)[6.8]	材種： 軟質 ・硬質 厚さ： 1.5 高さ： ・60 100
04	合成樹脂塗床 (19.4)[6.10]	種類 工法及び仕上げ種類 厚さ 厚膜型塗床材 ・弾性外付樹脂系塗床材 平滑 ・防滑 ・つや消し ・球状樹脂系塗床材 ・薄膜流し展べ工法(平滑 ・防滑) ・厚膜流し展べ工法(平滑 ・防滑) ・樹脂タタカク工法(平滑 ・防滑) 薄膜型塗床材 ・球状樹脂系塗床材 薄膜型塗床工法(平滑)
05	タタカク張り (19.5)[6.11]	・単層タタカク： 品名： ・タタカクタタカク1等 ・タタカクタタカク1等 工法： ・根太張り ・直張り ・接着 ・タタカク埋込み 樹種： なら 厚さ及び大きさ： 標仕による 仕上げ： 塗装品(UC ・) ・現場塗装(UC ・OS ・) ・複合タタカク： 工法： ・根太張り ・直張り ・接着(緩衝材： 合成樹脂発泡シート) 樹種： なら 種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・その他(板厚 ・表層) 仕上げ： 塗装品(UC ・) ・現場塗装(UC ・OS ・)
06	畳敷き (19.6)[6.12]	種別：・A種 ・B種 ・C種 ・D種(・ ・ ・ ・K ・N) (19.6)[6.12]
07	タタカク張り (19.7)[6.13]	規格名称 記号 厚さ等 防火性能 ・木質系タタカク板 ・HW ・NW ・25 ・50 ・準不燃 ・タタカク化粧吸音板 DR ・フック(・9 ・12 ・) ・凹凸(・12 ・15 ・) 不燃 ・けい酸加納タタカク板 ・0.8FK (タタカク2) ・6 ・8 不燃 ・化粧けい酸加納タタカク板 ・0.8化粧FK (タタカク2) 6 シール目地処理 不燃 ・化粧せっこうタタカク板 GB-D ・15バッチ(・9.5(準不燃 ・不燃) ・12.5(不燃)) ・せっこうボード GB-R ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) ・15(不燃) ・タタカクせっこうタタカク板 GB-S ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) ・強化せっこうタタカク板 GB-F ・12.5 ・15 不燃 ・普通硬質せっこうタタカク板 GB-R-H ・9.5 不燃
08	合板張り (19.7)[6.13]	目地工法： 仕上表による 種類 樹種等 厚さ 備考 ・普通合板 ・タタカク 1類 ・4 ・5.5 ・しな 2類 ・6 ・ ・構造用合板 針葉樹 特類 ・9 ・12 ・天然木化粧合板 ・タタカク化粧合板 ・3 ・6
09	壁紙張り (19.8)[6.14]	施工箇所 種類 防火種別 不燃・準不燃 不燃・準不燃 不燃・準不燃

